



ロータリー：
変化をもたらす

ARIDA 2000

No. 834

Club Bulletin

17-18年度 RIテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」

会長 大浦輝彦
幹事 辻本正成
クラブ会報委員長 南 良暢

ロータリー財団月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00

事務局・例会場/〒643-0025 有田郡有田川町土生409
吉備インターゴルフセンター

TEL (0737) 52-8960 / FAX (0737) 22-6800

E-mail/arida2kr@star.ocn.ne.jp

URL/http://arida2000rotary.club/

創立年月日/2000年 4月12日

本日のプログラム

平成29年11月22日第835回

ソング「それでこそロータリー」

会長の時間 幹事報告 委員会報告

ニコニコ箱報告 出席報告

卓話：湯浅町ブランド戦略推進室

経営戦略官 常詔雅幸様

次回のプログラム

11月29日 紀州高圧(株)営業部長

岡 義久様

12月 6日 地区IT委員会

田辺弘樹様 (堺清陵RC)

前回の報告 (第834例会)

開催日 平成29年11月15日 (水)

点鐘 大浦会長

ソング「手に手つないで」

ゲスト 米山記念奨学生

アマル・ジュリアンさん (海南東RC)

米山記念奨学会 委員長

山本 佳弘様 (田辺はまゆうRC)



●会長の時間●大浦 輝彦君

皆さんこんばんは、本日もご出席ありがとうございます。本日は地区米山奨学生 アマル・ジュリアン様 (海南東ロータリークラブ・フランス出身) にお越し頂きました。遠いところありがとうございます。後ほどの卓話、皆さん楽しみにし



ていますので、よろしくお願いたします。

又、同伴者として、米山記念奨学会委員長の山本佳弘様 (田辺はまゆうRC) にお越し頂きました。ありがとうございます。

先週は、4日連続お酒を飲む機会が続きまして、体調のことを考えると少し量を調整すれば良いと思うのですが、中々調整できなく、勢いに任せて飲んでしましまして今週は月曜日から体調不良でした。皆さんもこれから忘年会等も続いていると思いますので、気をつけて頂きたいと思います。11月はロータリー財団月間でありまして。財団月間では少なくとも1回の例会プログラムを、財団に関する内容とすることが求められていますので、少し調べてきたことを話させていただきたいと思います。

ロータリー財団の父と呼ばれるが、RI6人目のアーチ・クラフ会長だそうです。1917年に、当時の会長アーチ・クラフが米国ジョージア州アトランタの国際大会において、「ロータリーが基金をつかって、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案したのが始まりであるそうで、数カ月後、新しく誕生した基金は、米国ミズーリ州カンザス・シティRCから米貨26ドル50セントを最初の寄付金を受け取りました。当初、これは、クラフ会長への記念品の購入資金でした。しかし、ミズーリの人たちは、記念品の代わりに基金に寄付することを決定しました。次の寄付はその後米国カリフォルニア州サンフランシスコRC

から寄せられまして、基金がやがてロータリー財団に発展して行ったそうです。

その後、1928年ミネソタ州ミネアポリス国際大会で、この基金はロータリー財団と改称されたそうで、国際ロータリー内の別個の存在になりました。当時、管理委員であったアーチ・クランプは次のように述べています。

「われわれはこの財団を今日明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見つめるべきです。なぜなら、ロータリーは幾世紀にもわたる運動だからです」と述べたようです。

アーチ・クランプ以上に財団の目的、将来を理解した人はいなかったようです。当初より、アーチ・クランプは、ロータリー財団が、奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進するためのものと認識していて、ロータリアン誌の1928年9月号の記事で、この目的の達成方法として、学生の交換、グループの交換、国際事業関係を通じての友好等、例を挙げています。1928年にアーチ・クランプが思い描いたプログラムの多くは、現在、奨学金、研究グループ交換、マッチング・グラントなどの形で生き続けています。

その後、色々な活動を続けて、1947年には最初の財団プログラムが実現されたそうで、内容は、高等研究奨学金と呼ばれ、1年目は、米国、ベルギー、英国、フランス、メキシコ、中国の18人の若い人たちが選ばれて、他国でそれぞれの専門分野を勉強したそうです。当時、この人たちはポール・ハリス・フェロー、ロータリー・フェローと呼ばれていましたが、これが最初のロータリー国際親善奨学生だったそうです。本日お越し頂いた、アマル・ジュリアン様にも日本でしっかりと学びまして、経験を重ねて頂きたいと思えます。以上で会長の時間を終わります。ありがとうございました。

- ◆会員担当委員会（吉水志朗君）
新たな職業分類を開きます。
建設・土石・実業の舗装業



●出席報告●

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	17名	10名	58.82%
10/25	17名	16名	94.12%

●ニコニコ箱報告●

- 山本佳弘様：本日はよろしくお祈いします。
- 大浦輝彦君：みなさんこんばんは！！アマル・ジュリアンさん、本日はようこそお越しくださいました。後ほどの卓話宜しくお祈いします。
- 辻本正成君：アマル・ジュリアンさん、本日はよろしくお祈いします。
- 上野祥弘君：アマル・ジュリアンさん、本日は宜しくお祈いします。
- 前 任君：米山奨学生アマル・ジュリアン様、米山奨学会委員長 山本様、本日は難うございます。
- 平松一彦君：大阪国税局 局長表彰を頂きました
- 芝 毅君：アマル・ジュリアンさん、今日よろしくお祈いします。

●幹事報告● 辻本 正成君

- ◆例会変更（揭示）
- ◆ハイライトよねやま
- ◆11月の月信発行日について
- ◆ガバナー事務所より
地区大会の御礼



●各委員会報告●

- ◆11月の会員誕生日
梅本茂喜君
川島信治君
宮崎晴雄君



●卓話●

「私と日本の縁」

米山記念奨学生 アマル・ジュリアン君
(海南東RC・フランス出身)

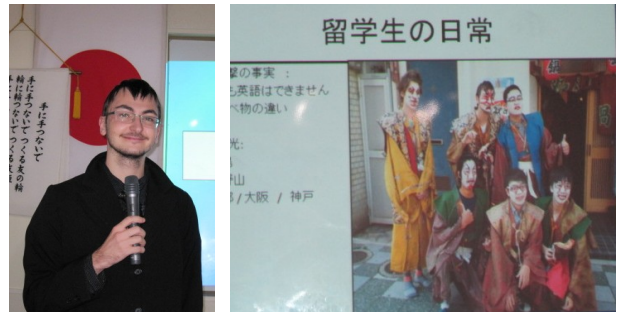
私はフランスのアルザス県に生まれました。ハントシュハイムっという町に住んでいます。アルザス県の一番大きな町はストラスブールです。ストラスブールはヨーロッパの一つの“首都”として選ばれました。様々な観光スポットや大事な施設がそこに集まっています。たとえば、ヨーロッパ議会、ストラスブール大聖堂とストラスブール大学。そして最後に、ドイツの侵略の跡が残っています。一番分かりやすいのは、今でもお年寄りの人たちがフランス語ではなく、アルザス語を使っています(フランス語とドイツ語の中間みたいな言語です)。そのせいで、私は自分の祖父母と話すことがたまに難しいです。

このような環境の中で、私は科学を勉強しました。昔から物理学にすごく興味があったので、物理専門の大学に入りました。でも、高校から、日本についてはちょっと勉強していました。すごく不思議な国と思いました。最新技術に注目している国なのに、まだ伝統、寺と神社が残っています。地震と台風が激しいのに、経済はトップクラス。当時は日本の事を授業で勉強するか、アニメでしか見た事がなかったので、一度旅行に行きたいと思っていました。そこで2010年の夏に友達と東京を観光に来ました。そこですごく楽しい経験をしました。特に印象に残ったのは、人の礼儀正しさです。とっても安全と楽しい国に見えたので、機会があればぜひ戻りたかったです。

旅から戻った後、私はどんどんロボットの研究に惹かれたので、工学学校に入りました。そこでロボットの設計や制御を勉強しました。でも、フランスの工学学校を卒業するためには、二つの半年のインターンシップは必要です。研究者を目指す私は、大学でインターンシップをするの方が大事でした。私の大学は、日本の和歌山大学とパートナーだったので、そこで再び日本に戻りました。そこで初めてちゃんと日本に住むようになったので、いろいろ難しかった。得に料理はぜんぜんなれてなかったので大変でした。でもいろいろなところを観光して楽しかった。研究のため来たので、ドローンの移動を制御する研究をしました。

インターンシップが無事に終わって、フランスへ帰って工学者として卒業しました。でもヨーロッパで研究者として働きたいなら、三年の会社の経験が必要だから、迷いました。日本がとっても魅力的に見えたので、日本で就職活動をする事になりました。一年のワーキングホリデーをとりました。残念ながら漢字は苦手なので、ほぼ全部の面接は駄目になりました。フランスに帰るところだったけど、和歌山大学の時代の友達が私に連絡をしてきて、和歌山大学で博士課程を取りたかった。私も昔から研究者をやりたいだったので、一緒に受ける事になって合格になりました。今は和歌山大学でマニピュレータ設計と制御の研究をやっています。大学は高いので、お金にはちょっと困りましたがロータリーのおかげで安心して研究をできるようになりました。その上、様々な国際活動をできる機会を与えていただきとっても感謝しています。無事に卒業する為頑張ります！

で、一緒に受ける事になって合格になりました。今は和歌山大学でマニピュレータ設計と制御の研究をやっています。大学は高いので、お金にはちょっと困りましたがロータリーのおかげで安心して研究をできるようになりました。その上、様々な国際活動をできる機会を与えていただきとっても感謝しています。無事に卒業する為頑張ります！



●閉会点鐘●